事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年10月21日更新

事務事業名	合志市スポーツ推進委員配置事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進	□「こどもまんなか社会」の構築	□産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺
	政策	3	教育の健幸				
	施策	11	生涯スポーツの推進	所属課	生涯学習課	担当者名	本間
	業務分野	38	スポーツの啓発と参加機会の提供	所属班	スポーツ振興班	（内線）	1508

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	10	6	1	10824	スポーツ基本法 合志市スポーツ推進委員に関する規則

終了、開始年度	□ 7年度で終了　□ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ　☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む）	スポーツ基本法に基づき配置。合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行ない市民の理解を深める活動を行なう。令和7年度時点で、22人を配置。 住民のスポーツ振興のために月に１度以上会議を行ない、各種スポーツ大会を企画立案し実施する。 各スポーツ推進委員のスキルアップと多くのスポーツ関係者が健康・運動に関する知識を得られるよう研修・講習会を開催する。 区やコミュニティ、老人会などが主催する様々なスポーツイベントにおいて、出前講座として、指導助言を行なうスポーツ推進委員を派遣する。 他市町村の取り組みと状況を学ぶとともに連携を深めるため、県スポーツ推進委員研修会や九州スポーツ推進委員研究大会に参加する。
【業務の流れ】	会議の開催、スポーツイベントおよび研修会の企画立案、出前講座の手配 年報酬および費用弁償等の支払い スポーツ推進委員手帳等の消耗品の購入事務 県スポーツ推進委員協議会への負担金支払い事務
【主な予算費目】	報酬、旅費（費用弁償）、旅費（普通旅費）、消耗品費、役務費、負担金、時間外手当、

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

【目的】推進委員の技能向上及び市のスポーツ振興を図った。
【内容】月例会議の開催、イベント部会の開催、スポーツイベントの運営、出前講座の実施、各研修会へ参加した。
【実績】4月から月例会議を毎月実施した。5月31日に各区対抗ニュースポーツ大会、10月11日にスポーツフェスティバル、1月10日にカントリーマラソン大会、3月28日に春ウォークラリー大会を実施した。熊本県スポーツ推進委員新任研修会（6月29日）、熊本県北地区スポーツ推進委員研修会（7月27日）、実技研修会（10月5日）に参加した。出前講座（6件）に対応した。
【成果】推進委員の技能向上及び市のスポーツ振興に寄与できた。市民に対して親切で分かりやすいスポーツの指導助言を行うことができた。

②8年度計画（次年度に計画している主な内容）

・月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼
・熊本県スポーツ推進委員研究大会、九州地区スポーツ推進委員研究大会、全国スポーツ推進委員研究協議会への参加を予定
・各区対抗ニュースポーツ大会、スポーツフェスティバル、カントリーマラソン大会、ウォークラリー大会などの開催

③予算の主な増減の理由

新規加入のスポーツ推進委員ユニフォーム等購入による消耗品費の増

成果指標			(単位)	データ取得方法
⇒	ア	年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合	%	
	イ			
	ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

		単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標	ア	%	1.5	1.9	8	2	2.4	2.4	2.6	3
	イ									
	ウ									
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	2,322	2,928	2,894	2,729	3,266	3,298	3,499	3,701
	（A）事業費計	千円	2,322	2,928	2,894	2,729	3,266	3,298	3,499	3,701

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

スポーツ推進委員の認知度は上昇しており、各種大会の参加者は増加傾向で、派遣の依頼も増加している。
今後も健康の増進とスポーツの普及のために、大会や派遣請負の周知に力をいれ活動の場を広げていく必要がある。

(4)今後の事業の方向性

□廃止　□縮小　□事業のやり方改善　☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 8月20日更新

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進	□「こどもまんなか社会」の構築	□産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺
政策	3	教育の健幸					
施策	11	生涯スポーツの推進	所属課	生涯学習課	担当者名	緒方	
業務分野	38	スポーツの啓発と参加機会の提供	所属班	スポーツ振興班	（内線）	1509	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	10	6	1	10825	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱

終了、開始年度	□ 7年度で終了　□ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ　☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む）	「総合型地域スポーツクラブ」は、平成１２年に県スポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成２０年までに少なくとも市町村に1つ作ることが目標に掲げられた。 これを受け、旧西合志町では、平成１５年４月に自主運営と地域における公益を目的とした地域に開かれた総合型地域スポーツクラブとして「クラブにしごうし」を設立。 平成１８年の合併に伴う新市誕生を経て、クラブ設立から１０年の節目にあたり、平成２７年度には名称を「クラブこうし」に改称。また、平成２７年度には、会員数７７８名を数えたクラブであったが、平成２８年度は熊本地震の影響もあり、年度末時点で６０６名に留まる等、活動場所となる施設都合により、活動を縮小することとなった。 平成１９年３月３１日に合志市２つ目の総合型地域スポーツクラブ「ヴィーブルＦＵＮクラブ」を設立。平成２７年度会員数は６６５名だが、平成２８年度は、熊本地震の影響もあり、活動拠点のヴィーブルと泉ヶ丘体育館が使用できず活動が殆ど行えていなかった。活動が大幅に縮小したが、市主催の体験教室でのケアトランポリン開催や別の施設での活動等を行った。 ２つの総合型地域スポーツクラブともに、平成２９～３０年度において、ヴィーブルに代表される体育施設の復興とともに、活動も活発化しており、新規教室の立ち上げや会員数の増加が見られている。 令和5年4月からヴィーブルFUNクラブが一般社団法人となった。 令和7年４月からクラブこうしが一般社団法人となった。
【業務の流れ】	・総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付→交付業務　※クラブこうしのみ ・入会受付および会議等での業務補助 ・施設の確保補助 ・クラブ事務局運営相談対応
【主な予算費目】	使用料及び賃借料・補助金

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

【目的】総合型地域スポーツクラブ事業をとおして市のスポーツ振興を図った。
【内容】総合型地域スポーツクラブへの補助金の交付及び市スポーツ施設の貸出しにより運営支援を行った。
【実績】「クラブこうし」に対して補助金の交付及び市スポーツ施設利用料の減免を行った。スポーツクラブ46教室、会員数961名。
【成果】幅広い世代の市民が、自身の健康増進を目的に、身近な地域で様々なスポーツに触れる機会を提供することができた。

②8年度計画（次年度に計画している主な内容）

・総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務　※クラブこうしのみ。
・事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設等)を半額軽減で提供した。
・地域おこし協力隊と連携して、市のスポーツ振興に関する事業に取り組んだ。

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】中学校部活動地域展開にかかる人材バンク運営業務委託による委託料の増

成果指標		(単位)	データ取得方法
⇒ ア	事業計画に則り、事故なく活動ができた事業の割合	%	
イ			
ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

		単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
	ウ									
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	794	1,151	5,857	5,912	10,462	5,861	5,864	5,866
	(A) 事業費計	千円	794	1,151	5,857	5,912	10,462	5,861	5,864	5,866

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

「クラブこうし」「ヴィーブルＦＵＮクラブ」共に、会員を増やし発展している。今後も自立した運営になるよう、活動支援が必要である。

(4)今後の事業の方向性

□廃止　□縮小　□事業のやり方改善　☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 8月14日更新

事務事業名	トレーニングルーム管理運営事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 □「こどもまんなか社会」の構築 □産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺
	政策	3	教育の健幸				
	施策	11	生涯スポーツの推進	所属課	生涯学習課	担当者名	緒方
	業務分野	40	スポーツ施設（環境）の整備	所属班	スポーツ振興班	（内線）	1508

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	10	6	2	10844	スポーツ基本法 合志市民体育館条例

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む）	トレーニングルームの運営、機器保守点検業務委託及び修理に関すること。 年３回の保守点検及びそれに伴う修理を行い、耐用年数（５年）以上の使用を行っている。トレーニング機器を活用した健康・体力づくりの指導を行うためにインストラクターを配置している。平成30年度より、一部運営業務委託を行い、人材の確保を行っている。 熊本地震の影響により、閉鎖していたトレーニングルームであるが、平成30年度4月から再開している。 令和元年度から全体を業務委託している。
【業務の流れ】	・トレーニング機器保守点検業務の契約→点検料の支払い ・新規トレーニング機器導入に係る事務→賃貸借契約→トレーニング機器の賃借料の支払い ・トレーニングルーム業務委託契約締結→月末点検実施→翌月初旬までに報告書受領→検査実施→委託料の支払（各月） ・利用契約を希望する企業との利用契約締結→利用料の請求→収納
【主な予算費目】	・消耗品費・修繕費・印刷製本費・委託料・使用料及び賃借料・備品購入費

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

【目的】安全で快適な施設管理・運営を行った。
【内容】施設運営業務の委託、機器の保守点検・修繕を行った。トレーニングルームの機器入替を行った。
【実績】施設運営業務委託、機器修繕及び機器の入替を行った（令和7年10月末入替作業済み）。また、体組成計（InBody）のリースを開始し、筋肉・脂肪量や筋バランス等を数値化することでより効果的なトレーニング計画の作成や利用者のモチベーションの維持向上につなげることができた。利用者数は熊本地震前に比べて95%近くまで回復した（令和7年4月～令和8年3月のべ利用者数25,009人）。

②8年度計画（次年度に計画している主な内容）

安定したトレーニング指導や助言を行う。職員のスキル向上に取り組み、来客者のニーズに応えた運営に取り組む。利用者が安心して利用できるよう施設管理を行う。

③予算の主な増減の理由

トレーニング機器更新終了に伴う備品購入費の減

成果指標			(単位)	データ取得方法
	ア	利用者数	人	
⇒	イ	体力向上指導数	件	
	ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

			単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標		ア	人	20,884	21,339	20,000	25,009	25,000	25,000	25,000	25,000
		イ	件	13	30	60	60	60	60	60	60
		ウ									
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	4,466	4,646	4,614	5,349	4,644	4,768	4,845	4,922
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	5,729	5,938	45,460	36,208	6,975	6,807	7,050	7,302
	（A）事業費計		千円	10,195	10,584	50,074	41,557	11,619	11,575	11,895	12,224

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

トレーニング機器設置から年数が経過しており、経年劣化や、修繕不能箇所が増えたため、R7年度に機器全体の入れ替えを行った。また、運営全体を委託業務しており、運動指導士による専門的なトレーニング指導や生活改善のアドバイスを行うほか、他課が行う健康関連事業との連携を深めていく。

(4)今後の事業の方向性

□廃止 □縮小 □事業のやり方改善 ☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 8月20日更新

事務事業名	体育施設維持管理運営事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 □「こどもまんなか社会」の構築 □産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺
	政策	3	教育の健幸				
	施策	11	生涯スポーツの推進	所属課	生涯学習課	担当者名	山田
	業務分野	40	スポーツ施設（環境）の整備	所属班	スポーツ振興班	（内線）	1509

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	10	6	2	10851	スポーツ基本法

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】（開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む）	市が管理している体育館やグラウンド等のスポーツ施設を、安全で快適に利用してもらえるように管理運営する事業である。 内容は、使用申請に基づく予約の受付と使用料の受理、管理用消耗品の購入、電気代や水道代、管理委託料の支払い、新規施設設置計画、施設の修繕や大規模な改修工事を実施している。
【業務の流れ】	市内スポーツ施設に係る清掃委託、管理委託、学校開放管理委託、施設設置工事及び改修工事並びに修繕業務に係る設計書作成・契約事務・監理・支払事務、消耗品購入支払事務及び運搬補充、光熱水費、燃料及び電話代支払事務、工事関係事務、施設貸出予約受付・収納事務、大会利用打合せ事務、スポーツ用品貸出事務。
【主な予算費目】	消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費、負担金補助金及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

【目的】快適に利用できるスポーツ施設運営管理を行った。
【内容】スポーツ施設の運営・維持管理・点検・修繕・工事を行った。
【実績】市内スポーツ施設の管理業務委託を行った。合志中学校グラウンドナイター照明整備工事、恵楓園公園グラウンド雨水排水設計等を発注し、各スポーツ施設の突発的な修繕対応、消防設備の保守点検を行った。
【成果】市民が安全で快適にスポーツができる状態に保つことができた。

②8年度計画（次年度に計画している主な内容）

恵楓園公園グラウンド整備工事及び引き続きスポーツ施設の運営・維持管理・点検・修繕等を行う。

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】恵楓園公園グラウンド整備工事に伴う工事費の増

成果指標			(単位)	データ取得方法
⇒	ア	維持管理に関する苦情件数	件	
	イ			
	ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

			単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標		ア	件	3	3	3	3	3	3	3	3
		イ									
		ウ									
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					500,000			
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円		8,900		102,200	526,700			120,000
		その他	千円	16,003	152,526	14,390	31,980	14,130	14,390	14,390	34,390
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	33,276	49,168	14,642	23,749	81,844	25,968	40,257	49,932
	(A) 事業費計		千円	49,279	210,594	29,032	157,929	1,122,674	40,358	54,647	204,322

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

円滑な受付業務と適切な管理運営を行うことによって、安全で快適なスポーツ施設を提供できると考える。

(4)今後の事業の方向性

□廃止 □縮小 □事業のやり方改善 ☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 8月14日更新

事務事業名	スポーツイベント開催事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 □「こどもまんなか社会」の構築 □産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺
政策	3	教育の健幸					
施策	11	生涯スポーツの推進	所属課	生涯学習課	担当者名	本間
業務分野	38	スポーツの啓発と参加機会の提供	所属班	スポーツ振興班	（内線）	1508

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	10	6	1	10772	スポーツ基本法

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	スポーツ推進委員の協力のもと、6月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、翌1月にカントリーマラソン大会、3月に春ウォークラリー大会を開催。
【業務の流れ】	年4回実施するイベント開催まで各大会部会にて大会概要について検討→推進委員会定例会にて最終決定→回覧・各戸配布・ホームページ・広報にて市民への参加呼びかけ→備品の準備→会場の準備→大会の開催→片付け→推進委員会にて振り返りと反省
【主な予算費目】	時間外勤務手当、休日勤務手当、報償費、消耗品費、役務費、燃料費、印刷製本費、委託料、使用料および賃借料

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

【目的】市民が気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを行った。
【内容】年4回スポーツイベントを開催した。
【実績】・5月31日：各区対抗ニュースポーツ大会（27区、416名参加）・10月11日：スポーツフェスティバル（203名参加）・1月10日：カントリーマラソン大会（618名参加）・3月28日：春ウォークラリー大会（123名参加）
【成果】事故なく各イベントを開催することができ、多くの市民に参加いただいた。市民のスポーツへの意識向上に寄与することができた。
【基準に達しなかった理由】各スポーツイベントの消耗品において当初見込みより執行額が少なかったため。

②8年度計画（次年度に計画している主な内容）

・6月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、1月に健康カントリーマラソン大会、3月の春ウォークラリー大会開催を予定。10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に市内の各種目協会等の主催での大会も実施。

③予算の主な増減の理由

令和7年度拡充事業（市政20周年記念大会開催）の終了に伴う委託料の減

成果指標		(単位)	データ取得方法
⇒ ア	年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合	%	
イ			
ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

		単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標	ア	%	1.5	1.9	2.4	2	2.2	2.4	2.6	3
	イ									
	ウ									
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	190	333	480	406	480	480	480	480
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,075	1,113	2,589	1,882	1,577	1,797	1,807	1,817
	(A) 事業費計	千円	1,265	1,446	3,069	2,288	2,057	2,277	2,287	2,297

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

開催時期である１０月は多くの大会が予定され、場所の確保・各団体の調整が必要である。また、参加賞などの無駄がでないように、早めの募集等が必要である。

(4)今後の事業の方向性

□廃止 □縮小 □事業のやり方改善 ☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 8月20日更新

事務事業名	合志市スポーツ協会活動支援事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進	□「こどもまんなか社会」の構築	□産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺
	政策	3	教育の健幸				
	施策	11	生涯スポーツの推進	所属課	生涯学習課	担当者名	山田
	業務分野	39	スポーツ団体の育成	所属班	スポーツ振興班	（内線）	1508

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	10	6	1	10822	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱

終了、開始年度	□ 7年度で終了　□ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ　☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む）	・合志市スポーツ協会補助金の交付 （合志市スポーツ協会では、菊池郡市民体育祭への派遣及び熊本県民体育祭への派遣、各種目協会・スポーツ少年団育成のための事業をおこなっている） ・菊池郡市スポーツ協会負担金の納入 ・熊本県民体育祭市町村負担金の納入（令和8年度から、市町村持回りによる開催から県スポーツ協会及び県教育委員会主催に変更となり、開催地が負担していた開催費を全市町村で按分することとなった）
【業務の流れ】	合志市スポーツ協会補助金交付事務 （補助金交付申請書受付→交付決定通知の発行→概算払→実績報告書の処理、補助金確定）
【主な予算費目】	負担金・補助金

(1)事務事業の振り返り・計画

① 7年度事務事業の成果・実績

【目的】各スポーツ協会、各種目協会、スポーツ少年団、県民体育祭実行委員会の活動支援を行いスポーツ振興を図った。
【内容】補助金の交付、負担金の納入、養成費の助成等を行った。
【実績】合志市スポーツ協会への補助金交付事務・菊池郡市スポーツ協会へ負担金の納入を行った。また、各種目協会及びスポーツ少年団への養成費等の助成を行い、各団体の活動支援を行った。
【成果】各スポーツ団体が定期的に活動することで、スポーツの振興と指導者の育成、スポーツの機会と場の提供に寄与することができた。

② 8年度計画（次年度に計画している主な内容）

合志市スポーツ協会への補助金交付事務・菊池郡市スポーツ協会へ負担金の納入をする。また、郡市民体育祭・県民体育祭への選手の派遣を行なう。各種目協会とスポーツ少年団等の活動支援を行う。

③予算の主な増減の理由

菊池郡市スポーツ協会負担金の増加および熊本県民体育祭市町村負担金の追加による負担金の増

成果指標		成果指標	（単位）	データ取得方法
⇒	ア	会員が所属する団体が定期的に活動している割合	%	
	イ			
	ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

			単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標		ア	%	100	100	100	95	100	100	100	100
		イ									
		ウ									
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	200	2,000						
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	7,277	4,834	5,381	5,198	6,114	6,023	6,024	6,025
	（A）事業費計		千円	7,477	6,834	5,381	5,198	6,114	6,023	6,024	6,025

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

各種目協会を取りまとめる協会事務局の運営に補助を行うことで、スポーツ関係団体相互の連絡調整を図るとともにスポーツの振興を図ることができた。

(4)今後の事業の方向性

□廃止　□縮小　□事業のやり方改善　☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）